岩盤ボーリング柱状図

調査名	その他河川　檜垣川　通常砂防事業に伴う業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	道路　掘削・掘削のり面

ボーリング名	№9	調査位置	広島県呉市清水	北緯	34° 14' 15.6156"
発注機関	広島県西部建設事務所　呉支所	調査期間	令和6年10月17日～ 令和6年10月21日	東経	132° 34' 13.3441"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 103.14m	角度	180 上 90 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	9.00m	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：シブヤ TSA-165 / エンジン：ホンダ EU26ij / ポンプ：丸山 MS157

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 (cm) / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日
	102.54	0.60		盛土（礫混り砂）									コンクリート厚10cm マサ土主体の盛土。	
1	101.54	1.60		礫混り砂									GL-0.6～0.9m付近有機質で黒色である。盛土前の表土と考えられる。	
2				砂礫	褐								GL-0.9m以深はマトリックスはマサ土。 φ10～20mm程度の角礫が2割程度混じる。	10/17 2.30
3														10/18 3.00
4													φ50～80mm程度の角礫や玉石が混じる。	
5													礫種は花崗岩やひん岩からなる。	
6	97.14	6.00											砂分が少なく、礫分が7割程度となる。	
7				風化花崗岩	褐灰～灰	w4	h1	D	V	d	D	C[0](100)	GL-8.0m付近まで風化しており礫状コア主体となる。	
8												C[0](100)	ただし、GL-7.0～7.1m付近は短柱状コアとなる。 GL-8.0m以深は片状～短柱状コア主体となる。	10/18 8.00
9	94.14	9.00				w3		C	IV	c	CL	20[20](100)		
10														
11														
12														
13														
14														

標準貫入試験

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
12	1.15	12 / 300		
	1.45			
23	2.15	23 / 300		
	2.45			
25	3.15	25 / 300		
	3.45			
27	4.15	27 / 300		
	4.45			
14	5.15	14 / 300		
	5.45			
50以上	6.00	50	70	
	6.07	70		

原位置試験：

室内試験：

削孔状況

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
10/17	200	85/ケーシング	SW/	0	500	0	W2 0	0
	86			0	600			
	120		HW/DB			1	W2 5	2
	135			1	600			
10/18 10/21	30					1	W2 5	0